

第8回独立行政法人評価委員会日本高速道路保有・債務返済機構分科会

1. 日時 平成22年2月26日(金) 午前10時00分～午後10時50分

2. 場所 中央合同庁舎3号館10階 共用会議室A

3. 出席者(五十音順、敬称略)

石田東生、角紀代恵(分科会長)、水尾衣里、山内弘隆

4. 議題

- (1) 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構の第2期中期目標(案)について
- (2) 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構の第2期中期計画(案)について

5. 議事概要

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構の第2期中期目標(案)及び中期計画(案)について

第2期中期目標(案)及び中期計画(案)を併せて審議することが了承され、事務局及び機構より記載内容についてそれぞれ説明があった。

委員から、第2期中期目標(案)及び中期計画(案)に対する変更意見はなく、原案どおり了承された。

なお、第2期中期目標(案)及び中期計画(案)に関する委員からのその他の意見等は以下のとおり。

- ・過去の実績のみをもって、計画管理費の削減をノルマ化するのはあまりよくない。算定を行う際には厳格に行う必要があるが、必要なものは必要なものとして道路が良好な状態に留めておくことが大事である。
- ・入札及び契約の適正化の推進の目的は競争性を発揮し、コストパフォーマンスをあげることである。入口での競争性という観点からの議論はなされているが、出口でのパフォーマンスの検証が十分でない。出口でのパフォーマンスの評価について取り組んでいただきたい。
- ・低金利の状態が長期にわたって続いている中で、資金調達の際に中・長期的な金利を予測するのは難しいが、計画的にかつ確実な返済を行う上で、機構が長期的な資金に軸足をおいて調達をしてきた判断は良いと思う。
- ・高速道路の利用促進で、料金施策に関わらず、高速道路の利用促進をするという幅広い意味での高速道路の利用促進を考えていくという姿勢は評価できることである。今後、どのように利用促進をするのか、促進すべき高速道路の利用のあり方等を議論していくことが重要である。